

表1 ソフトウェア品質シンポジウム*の経緯

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
開催年月日	1981.7.9~10	1982.9.27~28	1983.9.13~14	1984.9.18~19	1985.9.18~19	1986.9.29~30
一般参加者数**	204人	296人	430人	458人	499人	448人
特別講演 (敬称略)	やわ物の品質管理 森口 繁一	日本の品質管理への 提言 水野 幸男	ソフトウェアの品質 管理をどう考えるか 石川 馨	ソフトウェア品質管 理の実践的方法 朝日 勲	ソフトウェアの使い やすさの評価 ーワープロソフトの 暮しの手帖式評価 事例ー 木村 泉	高品質システムを 構築するために 三次 衛
特別発表	建設における設計の 標準化 (竹中工務店)	悩み苦しみからつか んだサービスの品質 (小林コーサー)	キャッシュカード発 送事前準備の改善 (三和銀行)	講習会準備時間の見 直し (富士ゼロックス)	みんなで挑戦！書類 と保管物量の半減 (カヤバ工業)	リポート外字入力時 の短縮 ープロセス(過程) 重視で大きな成果ー (リコーサービス)
パネル討論	ソフトウェア生産に おける品質管理解決 への布石	日本の品質管理はど こまでソフトウェア に適用できるか	ソフトウェアQC: 導入から実践へ ー現状・問題点・課題	ソフトウェアの品質 と生産性を両立させ るには	ソフトウェア再利用 の実践	ソフトウェア技術者 の育成と管理はいか にあるべきか
その他セッション (敬称略)						
応募報文 合計件数	13	20	28	28	31	23
ツールフェア出展数	—	—	—	—	—	—
文献数***	253+148=401	337+188=525	392+254=646	342+337=679	339+309=648	300+404=704

* シンポジウム名称について:

第1回から第23回まで「ソフトウェア生産における品質管理シンポジウム」

第24回から「ソフトウェア品質シンポジウム」に名称変更

第28回から3日間(初日、併設チュートリアル(半日集中講座)、本会議2日間)。

招待者、運営委員などは含まれません。* (国外文献) + (国内文献) = (総数)

	第 7 回	第 8 回	第 9 回	第 10 回	第 11 回	第 12 回
開催年月日	1987.9.29~30	1988.9.16~17	1989.9.13~14	1990.9.12~14	1991.9.12~13	1992.9.3~4
一般参加者数**	409人	320人	531人	373人	437人	326人
特別講演 (敬称略)	システム構築のコツ 唐津 一	やわ物の品質管理 如是我観 森口 繁一	あるエンジニア達の 開発軌跡 —エンド・ユーザー ・コンピューティング に至るまで 島村 隆雄	ソフト化経済社会の行方 佐和隆光 心の時代におけるソフト 開発の意義 森 政弘 90年代のソフトウェア 開発論 坂村 健	新しい企業人像 畑中 孝道	我が社の品質管理活動 前田 靖治
特別発表	コンピュータファイル 取出時間の低減 —ターミナル作業の ムダ時間を減らす— (横河・ヒューレット・ パッカード)	作業分担の不均衡是正 (インテック)	当社における品質管 理実施状況 —ソフトウェア開発 における品質管理 (三陽電機製作所)	新製品開発における 市場要求品質把握へ の品質展開の適用 (いすゞ自動車)	未経験分野ソフト ウェア開発における 品質向上 (日本電気アイシーマイ コンシステム)	協力会社の品質保証 レベルの向上 —核外注企業育成に よる品質のつくり込 み— (アマダワシノ)
パネル討論	ソフトウェア・データ とその活用	大規模システム開発 における要求分析の 実際と課題	パッケージソフトの 流通問題 —流通を阻害してい る要因について考え る—	ソフトウェア・ビジ ネスと品質戦略 開発環境とソフト ウェア品質ユーザー 参画とソフトウェア 品質	ソフトウェア技術者 って、魅力ある？ それともきつい？ —その職業生活を考 える—	ソフトウェアおよび サービスの評価・価 格・価値について
その他セッション (敬称略)					〔チュートリアル〕 ソフトウェアの品質 保証モデル構築のた めの道しるべ 野木 秀子 〔国際セッション〕 European Progress and Initiatives in Software Quality J. R. Hemsley	〔チュートリアル〕 SE的人材育成の品 質向上の進め方 江村 潤朗 〔ミニパネル討論〕 ソフトウェア開発に おけるコミュニケーション —×××に私の気持 ちが伝わらない!!!—
応募報文 合計件数	31	28	28	28	20	20
ツールフェア出展数	—	—	—	16	7	7
文献数***	314+340=654	478+424=902	471+498=969	364+338=702	426+437=863	409+405=814

	第 13 回	第 14 回	第 15 回	第 16 回	第 17 回	第 18 回
開催年月日	1993. 9. 2～3	1994. 9. 8～9	1995. 9. 19～20	1996. 9. 5～6	1997. 9. 10～11	1998. 11. 26～27
一般参加者数**	249人	294人	288人	304人	252人	250人
特別講演 (敬称略)	情報活用“利用者主役時代”を迎えシステムとCS(利用者満足)との関連を考える 辻 淳二	NTTデータ通信株式会社におけるシステム品質保証 信國 弘毅 インターネットの現状 石田 晴久	移りゆく日米関係 ビル・トッテン	スピードと品質 -日本のソフトウェア産業への課題- 棟上 昭男	新しい時代と情報システムの課題 尾関 雅則	日本式QCとソフトウェア 唐津 一 “顧客満足”追求の経営理念とその具体的取組み 福地 茂雄
特別発表	当社の情報システム部における品質管理の実践 (前田建設工業)		WCSQの現状と将来 菅野 文友	ソフトウェアCALSの狙いと実証実験について 長野 宏宣 ユーザが望むソフトウェア 桜井 仁	消費者満足を目指す消費者対応部門の活動 大井 護	—
パネル討論	オープンシステム時代のCS(顧客満足)とES(従業員満足)	オープンシステムにおけるクオリティソフトウェア	ネオダマ時代のソフトウェア品質管理を考える	ネオダマ時代のソフトウェア品質管理パートII	情報処理教育の今後のあり方	21世紀のソフトウェア品質について -Good Enough Quality-
その他セッション (敬称略)	〔チュートリアル〕 欧米におけるソフトウェア品質管理の動向 -第4次ソフトウェア製品品質管理調査団報告- 石田 厚子 〔ミニパネル討論〕 ソフトウェア開発のヒューマンファクター-あなたは向いているつもりでも...-	〔チュートリアル〕 新しいソフトウェア基礎教育の提案 -情報処理技術者試験の改訂に際して- 大岩 元	〔チュートリアル〕 ソフトウェア開発「クリーンルーム手法」の考え方 西橋 幹俊		〔チュートリアル〕 協力会社との連携による品質向上施策 菅原 護	〔チュートリアル〕 ビジネスオブジェクト標準化への取組み 堀内 一
応募報告文 合計件数	20	24	22	22	22	22
ツールフェア出展数	8	7	7	6	6	6
文献数***	465+533=998	482+604=1086	278+378=656	444+504=948	299+121=420	—

招待者、運営委員などは含まれません。 * (国外文献) + (国内文献) = (総数)

	第 19 回	第 20 回	第 21 回	第 22 回	第 23 回
開催年月日	1999.11.25~26	2001.11.21~22	2002.12.17~18	2003.12.4~5	2004.12.1~2
一般参加者数**	212人	171人	181人	148人 (うち海外参加者11人)	174人 (うち海外参加者3人)
基調講演 (敬称略)	バベルの国, 日本 小園 東雄 21世紀への新たなる創生 —情報技術を駆使した情報 革新— 木村 昌平	凡人でもヒットは出せる—100% 成功する 新商品企画システム P7— 神田 範明 HP社における全社的企業改革 激しい変化の時代を生き抜くため に—HP T C E (Total Customer Experience) 活動の 紹介— 柴田 憲伯	—	—	「トヨタ自動車におけ る車載組込みソフト開 発の取組み」 川名 茂之
特別講演 (敬称略)	—	—	「ソフトウェア品質改 善への挑戦 —システム開発の20年—」 谷島 宣之	「日本発, グローバルソ フトウェア製品を目指 して —Data Spider開発によ る実証—」 小野 和俊	「日本のソフトウェア 産業の競争力について 考える —ソフトウェアの生産 性と品質を向上させる 鍵は何か?—」 前川 徹
パネル討論	日本の情報産業の将来あ るいは日米情報産業の格 差をどう克服するか	—	—	パネルディスカッションI 「日本とのソフトウェア取 引の課題と将来 —お互いの強みを活かす道 を探る—」 パネルディスカッションII 「日本におけるプロセス 改善(SPI)の活性化の 方法」	「ユビキタス時代の ソフトウェア品質を 考える」
その他セッション (敬称略)	[チュートリアル] JavaとWebを使った これからのシステム・ アーキテクチャ 中村 輝雄	[セッションA] 「組み込みソフトウェアの進 むべき道」 [セッションB] 「CSS/We bアプリ ケーション開発における 品質管理」 [セッションC] 「モバイルが開くニューライ フスタイル—それを支える情 報システムの開発・品質・ ビジネスモデル—」 [セッションD] 「日本のプロジェクト マネジメントの実態と P S (Partner Satis- faction) への期待」	[テーマ別セッション] 「プロセス改善」 「人材育成」 —均一な企業風土に基 づく人材育成から, プロ ジェクトや個を認め異 文化交流に基づいた人 材育成へ—	[チュートリアル] 「アジアのIT事情(中 国, インド, 韓国, 台湾)」 [テーマセッション] 「P S (Partner Satisfaction) 向上のための実践チームビル ディング」	[チュートリアル] 「ユビキタス時代組込 みソフトウェアの高信 頼性保証について」 二上貴夫 「ソフトウェアの品質管 理を定量的に行うために」 小笠原秀人 [SPC研究会20周年 記念セッション] 「ソフトウェア海外展 開先駆者に聞く国際競 争力強化の秘訣」 [Sopen特別セッション] 「オフショア開発成功 の決め手はパートナー シップ」 [ワークショップ] 「国際コミュニケーション プロトコルの確立 —オフショア事例を通 じて—」
招待発表	—	—	—	—	—
応募報文 合計件数	22	10	4	30	18
ツールフェア出展数	6	—	20	—	—
文献数***	—	—	—	—	—

	第 24 回	第 25 回	第 26 回	第 27 回	第 28 回
開催年月日	2005. 9. 8～9	2006. 9.14～15	2007. 9. 6～7	2008. 9. 4～5	2009. 9. 9～11
一般参加者数**	306人 (うち海外参加者1人)	362人	375人	384人	317人
基調講演 (敬称略)	「Q-Japan構想 ～品質立国日本再生への道～」 飯塚 悦功	「NECにおける 品質革新の取組み」 佐々木 元	「組み込みソフトウェア 開発におけるトヨタ自動車 の挑戦」 重松 崇	「AGILE INSPECTIONS: Reviews by sampling and measuring defects」 (日本語タイトル:アジャイル インスペクション:サンプリ ングに基づくレビューで開 発者の品質意識を高める) Tom Gilb	「Balancing Process, Innovation, and Risk」 (日本語タイトル: 「プロセスと改革と リスクのバランスを とる」) Mark C. Paulk
特別講演 (敬称略)	「ユーザー企業から '診る' 経営とITの品質 ～品質の作り込みの観点 から～」 木内 里美	「ものづくり論とソフ トウェア ～組織能力とアーキテ クチャの視点から～」 藤本 隆宏	「企業情報システム・ア ーキテクチャの観点か らのソフトウェア要求」 南波 幸雄	「ソフトウェア産業と 日本の品質管理」 久米 均	「ル・マンで体験、工学 の楽しさと奥深さ ～課題突破力を創造す る新しい工学教育～」 林 義正
パネル討論	「ソフトウェア品質文化 を創った先駆者たちに学 ぶ ～かつての組織的な品質 への取り組みが、いまこ そ求められる～」	「攻めのソフトウェア 品質 ～基本に帰る～」	【ソフトウェア品質な んでも相談室】「もう品 質で悩まない!」	「The Bridge over Trouble Water」	「ソフトウェア技術者・ 管理者人材の育成と SQiP シンポジウムの 役割」
その他セッション (敬称略)	「ソフトの品質と仕事の品質 ～ソフトの品質のエンジニア リング的、科学的な作り込みと組織 成熟度向上によるプロジェクト マネジメントの強化は別物だ～」 (有賀 貞一) 〔チュートリアル〕 「中国オフショア開発事情 ～ 上海を中心とした日科連海外 調査団の交流から～」 河合 清博 「沖ソフトウェアにおけるソフ トウェア開発のためのプロジ ェクトマネジメント活用事例」 鷺田 淳一、安田 和司 「要求開発におけるPDCAフ レームワーク」 安井 昌男 「ソフトウェア品質を保証する 仕組みと技術の要点」 保田 勝通 「ITサービスマネジメント ITIL概要と国際標準化動向」 小泉 浩	〔チュートリアル〕 「ソフトウェア開発の 見積りと開発マネジメ ント ～IPA/SECの活 動並びにSIベンダの 新たな挑戦～」 合田 治彦 「ソフトウェアのテス トと品質保証」 大場 充 「先制型の品質マネジ メント ～外部委託の視点から ～」 長尾 清一 「自動車用制御システ ムソフト開発の最新動 向」 谷川 浩	〔チュートリアル〕 「エンタープライズシ ステムにおけるプロジ ェクトマネジメントの 勘所(基礎編)(実践編)」 能登原 伸二 「ソフトウェア品質保証 チュートリアルその1 ～ソフトウェア品質保証 の考え方と技術(若手技 術者向け)～」 「ソフトウェア品質保証 チュートリアルその2 ～ソフトウェア品質保 証の仕組みと組織(リー ダ・管理者向け)～」 保田 勝通	〔チュートリアル〕 1-1 「顧客満足を実現す るためのソフトウェア 品質保証」 (基礎編) 1-2 「顧客満足度向上を 目指すソフトウェア品 質保証」 (応用編) 保田 勝通 2 「Inspection Facts: to help you make good decisions to do Software Inspections and Reviews properly」 (日本語タイトル:インスペ クションの実際:インスペ クションとレビューを正しく行 うには) Tom Gilb	〔チュートリアル〕 1. 「顧客満足と開発者 満足を両立するための ソフトウェア品質保証」 保田 勝通 2. ソフトウェア品質保証 「高い成熟度」の意味を理 解する (Understanding High Maturity) Mark C. Paulk 3. JCSQE初級資格 対応:ソフトウェア 技術者のための品質 技術基礎 野中 誠
招待発表	12	12	17 (パネル含む)	8	3
応募報 文合 計件 数	15	12	25	22	34
ツール フェア 出展 数	—	—	9	7	5
文 献 数***	—	—	—	—	—

	第 29 回	第 30 回	第 31 回	第 32 回	第 33 回
開催年月日	2010.8.25~27	2011.9.7~9	2012.9.12~14	2013.9.11~13	2014.9.10~12
一般参加者数**	342人	344人	440人	470人	498人
基調講演 (敬称略)	「システム統合にみるプロジェクト運営～現場責任者として心がけたこと～」 根本 武彦	「ソフトウェアにおける作るモノの世界と使うコトの世界」 中小路 久美代	「顧客歓喜に向けて—品質要素評価論と重点品質要素の推移論—」 狩野 紀昭	「ソフトウェア品質リスクと品質向上技術戦略」 東 基衛	「ビジネスが変わる…品質が変わる」 横塚 裕志 「リスクマネジメントのための失敗学—再発防止と未然防止—」 濱口 哲也
特別講演 (敬称略)	「組織力を宿し、紡ぎ、磨き、繋ぐ」 高橋 伸夫	「日本の宇宙開発最前線を語る～日本の基幹ロケットH-IIA/H-IIBについて～」 前村 孝志	「スバルの知能化と“ぶつからないクルマ？”アイサイト」 樋渡 穰	「進化するIT組織と開発スキーム～リクルートのサービス開発の事例紹介とともに～」 東 基衛	
パネル討論	「第4のプロフェッション～ソフトウェア品質技術者～」 保田 勝通	「これからのソフトウェア品質エンジニアリング」 河合 清博	「ソフトウェア品質の価値、ソフトウェア品質保証の価値」 渡辺 喜道 笹部 進	「高品質のための部門間協調のありかた～ソフトウェア品質シンポジウム流DevOps」 東 基衛	「改善活動に命を吹き込む」 東 基衛
その他セッション (敬称略)	〔チュートリアル〕 「ソフトウェア品質保証の構造的な問題点と対策の指針」 保田 勝通 〔企画セッション〕 1. 「リスクベーステスト、ここを教えて！～実践するときの悩みどころ～」 2. 「ソフトウェアプロジェクト・サバイバルガイド～火消しの達人が贈る混乱プロジェクトの救済法～」 3. 「ソフトウェア品質保証部長の会からの情報発信」 4. 「ソフトウェア品質を大いに語る」	〔チュートリアル〕 「基礎から学ぶソフトウェア品質マネジメント」 河合 清博 〔企画セッション〕 1. 「実践していますか？Wモデル」 2. 「明日の品質保証を考える—新しい潮流に対応するために必要なことは—」 3. 「品質がもたらすソフトウェアのビジネス的価値—東京証券取引所 arrowhead開発のユーザー側、ベンダ側双方のプロジェクトマネージャに聞く—」 4. 「ソフトウェア品質保証部長の会からの情報発信！」	〔チュートリアル〕 「ソフトウェア品質技術者資格試験 (JCSQE) 初級試験問題の解説～問題から読み解くソフトウェア品質技術～」 渡辺 喜道 笹部 進 〔企画セッション〕 1. 「データ収集・分析のアンチパターン」 2. 「自動改札機ソフトウェアの品質向上の取組み—厳密な仕様、もたらさないテストを目指して—」 3. 「スーパーコンピュータ「京」ソフトウェア開発—10PFlops未知なる規模への挑戦—」 4. 「アジャイル開発の品質を考える」 〔SQiP特別セッション〕 1. 「Wモデル」 2. 「SQiBOKが開発者と品質管理者をつなぐ—なぜ品質管理者は、開発技術者を知る必要があるのか？なぜ開発者は、SQiBOKを読む必要があるのか？」 3. 「ソフトウェア品質管理・保証実態調査」 4. 「ソフトウェア品質保証部長の会からの情報発信！」	〔企画セッション〕 1. 「「ここがすごいよ」「ここが困るよ」短期開発」 2. 「品質エンジニアの育成」 3. 「SKYACTIVテクノロジーとその開発を支えたモデルベース開発」 4. 「アジャイル開発とソフトウェア品質」 〔SQiP特別セッション〕 1. 「ソフトウェア品質保証部長の会からの情報発信！」 2. 「SQiPの研究開発1」 3. 「SQiPの研究開発2」 4. 「SQiPのコミュニティ活動」	〔企画セッション〕 1. 鉄道信号システムへのアシュアランス技術の適用 2. 「モデルベース開発におけるDIコンテナの活用と、多品種開発及びテスト省力化の取り組み」 3. 「グローバル化とソフトウェア技術者」 4. 「レビューとテストは使い分けるべきか？」 〔SQiP特別セッション〕 1. 「SQiPの研究開発」 2. 「世界のソフトウェア品質の最新動向！～第6回世界ソフトウェア品質会議 (6WCSQ) から～」 3. 「ソフトウェア品質保証部長の会からの情報発信！」 4. 「SQiPのコミュニティ活動」
招待発表		2	2	3	4
応募報告 合計件数		43	32	33	38
ツールフェア出展数		8	5	7	5
文献数***		—	—	—	—

	第 34 回	第 35 回	第 36 回	第 37 回	第 38 回
開催年月日	2015.9.16~18	2016.9.14~16	2017.9.13~15	2018.9.12~14	2019.9.11~13
一般参加者数**	566人	655人	659人	651人	806人
基調講演 (敬称略)	「変わりつつあるシステム品質 ～世界で起きている開発方法論の革新～」 白坂 成功	「失敗を防ぐマネジメントから成功を続けるマネジメントへ」 芳賀 繁	「忘れていませんか？コミュニケーションに係わる ヒューマンファクター～自らエラーをしようと思 っている人間はいない！～」 塚原 利夫	「IoT時代の品質・生産性向上とは；“共創”に 基づく-顧客価値創造」 圓川 隆夫	「新たなイノベーションをもたらすIoTの次 なるステップとは」 坂村 健
特別講演 (敬称略)	「JR東海の鉄道事業 運営を支える情報システム の取り組み」 石川 勝隆		「セブン-イレブンの 総合情報システム「近く て便利」を支えるシステム 構築と品質」 栗飯原 勝胤	「物流の改革」を実現 宅急便の進化を支える 最重要システム・IT戦 略」 田中 従雅	「スマートコンストラ クションで実現する建 設産業のデジタルト ランスフォーメーション」 四家 千佳史
パネル討論		「自動運転、運転支援に おける品質保証はどう あるべきか？」			
その他セッション (敬称略)	〔企画セッション〕 1. 「ANAのプロセス改革 ～旅客サービスを支える大規模ミ ッションクリティカルシステムの刷新 ～」 2. 「通信事業システムへのアジャ イル開発の適用」 3. 「プロジェクト支援活動の葛藤と やりがい」 4. 「暗黙知を共有し生き生きとした チームを作るバタン・ランゲージ」 〔SQIP特別セッション〕 1. 「ソフトウェア品質知識体系の 近未来像」 2. 「SQIPのコミュニティ活動」 3. 「ソフトウェア品質保証部長の 会からの情報発信！」 4. 「SQIP-West 関西ソフトウ ェア品質保証責任者の会からの情報 発信」	〔企画セッション〕 1. 「ヤフー地図：利用者視点に立 ったこだわりデザインとスマホ カーナビへの挑戦」 2. 「アジャイル開発におけるメ トリクスの活用」 3. 「つながるクルマのセーフティ &セキュリティ」 4. 「車載ソフトウェア開発の制約 下におけるソフトウェア欠陥予測 事例」 Software fault prediction based on automotive software development restrictions - an experience report 〔SQIP特別セッション〕 1. 「SQUBOK V3に向けた研究 活動」 2. 「SQIPのコミュニティ活動」 3. 4. 「ソフトウェア品質保証部 長の会からの情報発信！」	〔企画セッション〕 1. 「クラウド活用のため に変えたアーキテクチャ、 開発プロセス、体制」 2. 「IoTはどこまで進んで いるか？」 3. 「FinTechトレンドを リードするサービス開発 のポイント「品質」「スピ ード」「セキュリティ」」 4. 「トヨタが進める自工 程完結 ～ホワイトカラーの生産 性向上～」 〔SQIP特別セッション〕 1. 「SQUBOK V3に向け た研究活動」 2. 「SQIPのコミュニティ 活動」 3. 4. 「ソフトウェア品質 保証 部長の会からの情報 発信！」	〔企画セッション〕 1. 「機械学習工学とソフ トウェア品質」 2. 「機械学習システムに おけるソフトウェア品質 保証の課題」 3. 「デジタルトランスフ ォーメーション (DX) に むけ組織とマインドはど うあるべきか？」 〔SQIP特別セッション〕 1. 「ソフトウェア品質保 証部長の会からの情報発 信」 2. 「ソフトウェア品質知 識体系ガイド SQUBOK V3に向けた取り組み、最 新情報」	〔企画セッション〕 1. 「オープンシステムの総 合信頼性 (Open Systems Dependability) を規定し た日本発の国際規格IEC 62853の概要と実践事例の 紹介」 2. 「CASE時代の車載組込 みシステムの動向と課題」 3. 「デジタルトランスフ ォーメーション時代にお けるソフトウェア開発と品質 保証のあり方」 4. 「社会に広がる人工知 能の現在・過去・未来」 〔SQIP特別セッション〕 1. 「ソフトウェア品質保 証部長の会からの情報発 信」 2. 「ソフトウェア品質知 識体系ガイド」SQUBOK v3 に向けた取り組み、最新情 報」 3. 「SQIP のコミュニティ 活動紹介」
招待発表	5	4	4	4	4
応募報 文合 計件 数	26	32	33	27	33
ツール フェア 出展 数	7	5	6	5	8
文献 数***	—	—	—	—	—

	第 39 回	第40回	第41回	第42回
開催年月日	2020.9.10~11	2021.9.9~10	2022.9.8~9	2023年
一般参加者数**	617人	557人	573人	630人
基調講演 (敬称略)	日本企業がデータドリブン企業になれない本当の理由とその解決方法 河本 薫	脳科学から考えるやり抜ける人・逆境に強い人とそうでない人の決定的な違いとは 細田 千尋	経験から学び、人を育てる 松尾 睦	Kano Modelから品質について学ぶ！ 狩野 紀昭
特別講演 (敬称略)	デジタルトランスフォーメーション(DX)による製造業における価値創造 高山 茂樹	スケールフリーネットワークで起こすDX2.0と QX (Quantum Transformation) 島田 太郎	日本取引所グループシステム部門の取組み～システムトラブルからの学びと今後の挑戦～ 横山 隆介	人びとの暮らしを支えるインテリジェントモビリティとその進化 安井 裕司
パネル討論				「ソフトウェア、サービスにおける魅力的品質とは？」 「Software defined vehicle時代のソフトウェア開発や品質評価はどうあるべきか？」
その他セッション (敬称略)	〔企画セッション〕 1. テスト自動化をはじめよう。 2. エンタープライズの事例からひも解く～クラウドをセキュア構築するには 〔SQiP特別セッション〕 1. SQiP特別セッションソフトウェア品質知識体系ガイド SquBOK Guide V3 早出し最新情報 SquBOK Guide V3 発行間近！改訂内容とその歩み方を先行公開 SquBOK研究チームの活動紹介～IoT品質保証の最新動向～	〔企画セッション〕 1. 『品質保証部門やレビュー担当者、テスト担当者から見た「仕様書あるある」について語る』 2. 人間中心の創造とKMデザイン思考 3. 組織を芯からアジャイルにする 4. ソフトウェア開発における機械学習活用の展望 〔SQiP特別セッション〕 1. 第12期ソフトウェア品質保証部長の会からの情報発信 2. クオリティトーク～ソフトウェア危機はなぜ起こるか、私たちに求められていることは何か～ 3. 「ソフトウェア品質知識体系ガイド」SquBOK V4に向けた取り組み、最新情報 4. ODC分析研究会からの情報発信	〔企画セッション〕 1. 自動運転ソフトウェアを継続的インテグレーション(CI)できるか？ 2. 複合機ソフトウェアの市場品質向上と開発中核能力の活用 3. ソフトウェア・ファーストから考えるソフトウェア品質 4. 組織にテストを書く文化を根付かせる戦略と戦術(2022秋版) 〔SQiP特別セッション〕 1. 第13期ソフトウェア品質保証部長の会からの情報発信 2. ソフトウェア品質知識体系ガイド(SquBOK Guide V4)に向けた取り組み、最新の情報発信	〔企画セッション〕 1. AI搭載プロダクトの品質保証に関する国内外の動向と検証技術 2. ANAの安全性・信頼性マネジメント～仕組みづくりと人・組織づくり 〔SQiP特別セッション〕 1. 世界に羽ばたけるソフトウェア品質技術者の人財育成～SQiPが考える、人、企業、社会が成長する新たな価値提供～ 2. 日本のDXを阻害する障害は何か？～DXの魅力的品質を高めるには何をすべきか～ 3. ～製造業のソフトウェア化へ向けて～ソフトウェアがリードする開発で、サービス変革を実現しよう 4. SquBOK(ソフトウェア品質知識体系ガイド)に関する情報発信 5. 第14期ソフトウェア品質保証部長の会からの情報発信
招待発表	6	4	3	5
応募報告文 合計件数	—	20	26	28
ツールフェア出展数	7	9	7	12
文献数***	—	—	—	—